

出土編組製品素材の同定方法

Identification Methods of Plant Materials of Excavated Weavings

小林和貴・鈴木三男

KOBAYASHI Kazutaka and SUZUKI Mitsuo

はじめに

①材料と方法

②結果と考察

まとめ

【論文要旨】

出土編組製品の素材に関する研究は、これまであまり行われてこなかった。その原因として、素材植物の同定を行うための切片作製方法が確立されていないことと、現生植物種の比較対照標本が不十分であることがあげられる。本稿では、切片作製方法の確立を目指して徒手切片法と樹脂包埋切片法による切片作製と、潰れた植物組織の復元方法の検討を行った。二つの切片作製法を使い分けることで、遺存状態の良い遺物と劣化した遺物、保存処理された遺物の切片を作製することが出来た。潰れた植物組織の復元にはアンモニア処理が有効だった。

【キーワード】 編組製品, 素材同定, 樹脂包埋切片, 組織復元